



## 幼稚園 Kindergarten

### どんな時も見守ってくださる神様

年長組保護者 真山 真理

毎年幼稚園ではアドヴェントからの毎週の礼拝、クリスマス礼拝でクリスマスをお祝いしています。今年はクリスマスをお祝いできるのか、自粛期間中に想像することもできませんでした。いつまで休園が続くのか、見通しがたないことはこんなにも不安になるのだと改めて感じました。

自宅ですごく日々の中、娘の楽しみは幼稚園から送って頂くメールです。幼稚園の先生が作って下さるお話を楽しみ、最後には手を組み、目を閉じてお祈りしていました。その時間は一日の中で一番安心できる時です。

一度休園中に娘と外から幼稚園を見



日々の生活の中、皆でするお祈り

に行きました。園までの道のり、3か月ぶりに見る景色が変わらずそこにあることに感激したのを覚えています。

どんなときにもお祈りできる子ども達と共に、いつも私達を見守って下さる神様に感謝し、今年もイエス様のお誕生をお祝いしたいと思います。

クリスマスおめでとうございます。

### 私の光

幼稚園教諭 藤田 晨平

緊急事態宣言が出て、私が通う教会では礼拝で集うことを一時やめ、オンラインの礼拝を始めました。ニュースを見れば、今までも確かにあった社会の分断がより明らかになっていくように感じました。つながること、線が引かれていくこと。このような世の中にあって、自分はどこに立つのか、確認させられる時を過ごしました。

イエスの旅路は、社会で小さくされたものに線<sup>また</sup>を跨いで出会いにいくものであり、その先に十字架と復活がありました。その始まりとしてクリスマスの出来事があります。待ち望まれた救世主は、誰も予想しなかった、とても小さな存在としてやってきました。小さくとも、大きな光でした。神さまは小さな私のことをも照らし、出会いに来てくださった。そのことを喜ぶクリスマスを、幼稚園の子どもたちと共に迎えたいと思っています。